食と農と大地のソリューションカンパニー ISEKI

ヰセキロボット田植機
PRJ8〈8条植〉

ロボット田植機（8条植） 有人監視型 ドリームパイロット

さなえ PRJ8

使用者の監視下において、リモコン操作での無人作業ができる!!

軽労化 人材確保 規模拡大

＊写真はテスト機です

■装備一覧表

型式	区分	有人監視型ロボット田植機	自動化					ロボット専用装備								操作							走行関係				その他		植付関係									ロータ		施肥関係							アグリサポート
								リモコン																																						
			RTK2周波（RTK-GNSS＋IMU）	直進アシスト	条間アシスト	自動旋回（バック旋回有）	自動植付（エリア指定）	到達距離300m	液晶モニタ	油圧感度調整	ロータ高さ調整	植付深さ調整	緊急停止、一時停止・解除	モニター（タブレット）	シートスイッチ	ハイモニターパネル＆カラー液晶モニタ	ハンドルチルト調節	アクセル調節（オート＋フート）	アクセル制御	さなえDXシフト前レバー（HST・電動）	旋回制御（さなえZターン）	ハンドル制御（ブランレスモータ）	オートデフロック	強制4駆制御	前輪サスペンション	さなえスーパーZターン	補助苗枠 空苗箱回収レール	補助苗枠 NEW電動苗レール	電動フロントマーカ（水車マーカ）	油圧式ローリング制御	電動あぜクラッチ（自動復帰機能付）	苗タンク端寄せ（ピタ寄せ）	畦際植え（ピタ植え）	植付部エアサスペンション	電子制御比例弁昇降制御	植付深さ制御	電動苗取り量	さなえDXロータ（モータアシスト）	電動ロータ上下調節	施肥機駆動方式	エアー排出方式	ブロアー温風吸込み	施肥シャッター	電動試し繰出し	ピタマキ（無施肥区間解消）	
		R														D																							L	L	F	F	F	F	F	F	
PRJ8D	RL		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	OPT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	両側	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	OPT
	RLF		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	OPT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	両側	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	OPT

■有人監視型ロボット田植機主要諸元表

名称			ヰセキ田植機「さなえ」	
販売型式名			PRJ8D	
区分			ロボット（有人監視型）	
			RL	RLF
駆動方式			4輪駆動	
機体寸法	全長	(mm)	3,310	
	全幅（収納）	(mm)	2,250	
	全高	(mm)	2,300	
	最低地上高	(mm)	465	
機体質量（重量）		(kg)	1,025	965
エンジン	型式名		E3112	
	種類		水冷4サイクル3気筒立形ディーゼル	
	総排気量	(L[cc])	1.123[1,123]	
	出力／回転数	(kW[PS]/rpm)	18.0[24.5]/3,000	
	使用燃料		ディーゼル軽油	
	燃料タンク容量	(L)	28	
	始動方式		セルモータ式	
	バッテリー	(V・Ah)	12・36	
走行部	かじ取り方式		アッカーマン式・パワーステアリング	
	前輪 種類		広幅ハイラグフランジ ノーパンク	
	前輪 車輪径	(mm)	650	
	前輪 固定方法		フランジ	
	後輪 種類		湿田用太リム ゴムラグ（12枚）	
	後輪 車輪径	(mm)	950	
	車輪懸架		前輪独立サスペンション	
	軸距	(mm)	1,200	
	輪距 前輪	(mm)	1,200	
	輪距 後輪	(mm)	1,220	
	変速段数	(段)	前進2、後進2（HST）	
植付部	植付方式・条数	(条)	ロータリ式強制植付・8	
	植付条間	(cm)	30	
	植付株間	(cm)	30, 26, 22, 18, 16, 14	
	植付株数	(株/3.3m²)	37, 42, 50, 60, 70, 80	
	植付深さ	(cm)	1.5～5.5（9段 電動）	
	1本株調整量 横送り量	(mm)	10.0、11.7、14.0	
	1本株調整量 横送り回数	(回)	20、24、28	
	1本株調整量 縦かき取り量	(mm)	8～18（電動）	
苗の条件	苗の種類		マット苗	
	葉令・草丈	(葉、cm)	マット苗 2～4、10～25	
施肥装置（F型）	肥料の種類		—	市販されている粒状肥料の中から適する物を選ぶ。
	ホッパー容量	(L[kg])	—	16.6×8[120]
	繰出方式		—	ロール溝回転
	繰出調節方式		—	電動
	繰出量調節範囲	(kg/10a)	—	10～80
	施肥位置	(cm)	—	苗の側方 4.5、深さ5.0
苗搭載枚数	植付部	(枚)	16	
	予備苗	(枚)	8	
作業速度		(m/s)	0～1.86、疎植植付規制時 0～1.6（スリップ率10%）	
作業能率（計算値）		(min/10a)	7～（F型:8～）	
安全性検査合格番号			申請予定	
型式名			—	

●この主要諸元は改良のため、予告なく変更する場合があります。●商品は写真と異なることがあります。●保証書はご購入の取扱店で、必ずお受取りください。

安全は私たちの願いです。

●製品のお取扱いに当っては製品に添付されている「取扱説明書」をご熟読のうえ、安全に注意してご使用ください。
●ヘルメットは必ず着用し、作業に適した服装で安全確保を心掛けましょう。●事故や故障を未然に防ぐため、点検整備を必ずおこなってください。
●無理な運転は商品の寿命を縮め、事故や故障の原因となることがあります。

ごはんを食べて、いい一日
大切にしたい日本の味……お米。

ISEKI
井関農機株式会社
〒116-8541 東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
http://www.iseki.co.jp
7082-300-2837-0

2021年9月作成-ZG

製品についてのご相談・ご意見は
下記の取扱店までご連絡ください。

担当者

ISEKI マスコットキャラクター さなえ

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C006732
みんなでごはん

■ロボット田植機のメリット

軽 労 化

短い時期に集中する田植えの適期。
広大な面積の植付作業はオペレータに大きな負担を掛けます。
ロボット田植機なら疲労を軽減できます。

人材確保（オペレータ）

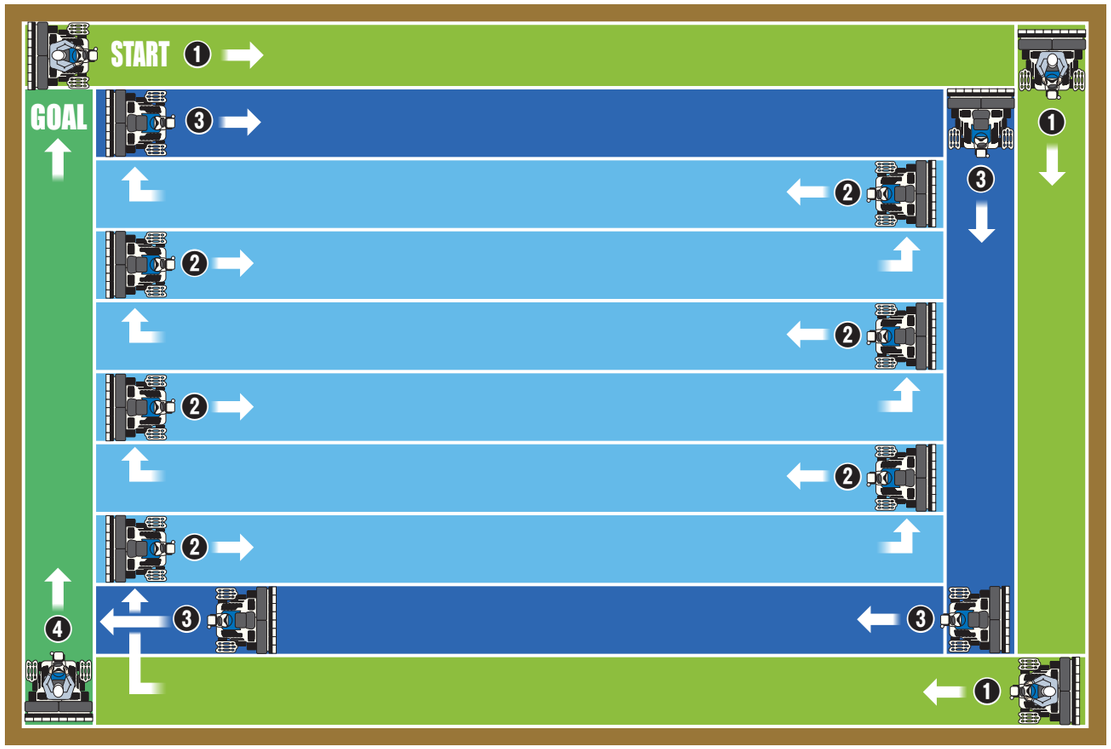
ロボット田植機が熟練者並みの精度で作業を行うので、
初心者でも作業ができ、担い手、プロ農家にとっての課題である
オペレータ不足を解消できます。

規模拡大

疲労軽減とオペレータ不足を解消することで、
さらなる経営規模拡大ができます。

ロボット田植機の4ステップ

❶ほ場情報の取得（ティーチング） ❷自動往復植え
❸自動内周植え ❹外周植え



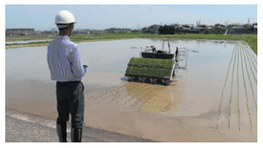
手動 ❶ほ場情報の取得（ティーチング）

はじめに3辺を手動で植付けすることで、ほ場の形状を取得します。（空走りは不要）

作業と同時にほ場の形状を取得

自動 ❷リモコンスイッチで自動往復植え

ほ場の形状の取得後は、自動で往復植えをします。
一往復ごとにあぜ近くで自動減速・停止します。



リモコンで往復植えスタート

自動 ❸自動内周植え

内周を自動で植付けます。

往復植えが終わりに近付くと、あぜクラッチを制御して、内周植え8条となるよう自動調整します。

手動 ❹外周植え

手動で残った1辺を植付けます。

■リモコンスイッチ

自動作業で使用。カラー液晶で分かりやすく表示し、300m先まで電波が届きます。

■オートデフロック

旋回時にタイヤの空転を感知すると、オートデフロック機構が働き、推進力を維持します。

■強制四駆制御

さらにもっと強力な推進力が必要になった場合には、自動で強制四駆が作動します。
また、リモコンでも操作可能です。